コード	名称	区分	コード	名称
事業名	930 駅前便所維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	目	05	財産管理費
		細目	115	市有財産管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	02	駅前便所維持管理経費
担当部課	コード	600100		担当者氏名
	名称	鳥ヶ原支所 振興課		
		連絡先	59 - 2053 (内線)	43

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	鳥ヶ原駅を利用される通勤者・通学者・観光客	※対象件数
成果(どうする)	誰もが美化された快適なトイレを使用することができる。 完備された多目的トイレやベビーシートも安心して利用することができる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業内容	施設の管理業務委託 光熱水費等の維持管理費の支出	
社会情勢の変化等	委託している業者はJR鳥ヶ原駅の切符販売や駅舎管理を兼務しており、その業務を安価で委託することができる利点があるが、配置人員が1名であるため管理業務が行き届かないときもある。管理業務日誌の報告と現地踏査することで管理状況を把握している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	伊賀北部農協
3 規模・構造		2 配置人員	1人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	206千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
年間清掃回数		回	目標	730	目標	730
			実績	730	実績	730
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
苦情件数		快適にトイレを利用できるよう苦情等を把握し、満足度指標とする。	件	目標	3	目標	3
				実績	1	実績	1
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	Aの財源内訳	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)		199	207	206	206
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0		
	一般財源	199	207	206	206
事業投入人件費(B)		0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)		919	927	926	926

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 個人のみだけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	来訪者が快適に利用できるよう今後も適切な維持管理に努め、地域のイメージアップを図る。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 適切な維持管理に努め、伊賀市の西の玄関口として地域観光のイメージアップに努めた。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	増永 由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 駅を利用される観光客・通勤者・通学者等誰もが美化された快適なトイレを使用することができるよう、引き続き維持管理に努める。
現時点における課題、その他	管理業務を安価で委託することができる利点があるが、配置人員が1名であるため、管理業務が行き届かないときもあるので、苦情がないよう管理指示を行う。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	来訪者が快適に利用できるよう、引き続き適切な維持管理に努める。